



## 株式会社テイクス様

出遅れた状態を巻き返した未経験中途採用エンジニアが感じた必要な能力とは？

CASE STUDY

企業名	株式会社テイクス
所在地	東京都中央区八丁堀3-11-12大基ビル2階
URL	http://www.takes.ne.jp/
業務内容	システム開発・インフラ構築・運用保守
従業員数	604名



2000年創業の株式会社テイクスは「IT技術支援のNo.1を目指す」という経営理念に基づいてソフトウェア開発、インフラストラクチャー構築/運用などの技術支援を行う企業だ。今回はテイクスの中堅社員、東京事業本部技術部のチーフ、伊藤一洋氏にインタビューを行った。

るうちにIT業界も良いかなと思えたというのが背景ですね。それから約5年テイクスで働いています。

### テイクスを選んだ理由は？

先ほど言ったようにそれまでコンピュータを仕事にするという経験が無かったものですから不安があったんですが、テイクスは社員教育がしっかりしているという印象もありましたし、実際に異業種から転職された人が多く活躍しているということもありましたので、それを評価して応募しました。

### 研修はどんな感じだったのですか？

私は転職したタイミングにたまたま前職の電気工事が活かせる業務があり、研修を受けずにすぐ配属になりました。仕事の内容はデータセンターでの企業間調整で、サーバーラックの仕様を決めるなど、主にハウジング調整関連の業務でした。それを約2年半やりました。それから今の仕事、モバイルキャリアのサーバーに関する仕事に移りました。ここでは既存サーバーをマイグレーションすることが目的なのでサーバーそのものを理解しておく必要がありました。

### コンピュータに関するスキルはどのように習得されましたか？

テイクスとしては新人研修の中でLPICのレベル1を取るというのが通常の流れだったんですが、私はすぐに配属になった為、LPICレベル1に関しては独学から始めました。その為合格するまでにはちょっと時間がかかってしまいましたが、社内の教育部門ラーニングシステム部のレクチャーを受けながら、試験勉強は自宅と職場の移動時間を上手く使ってやっていました。それを大体6か月くらい続けてLPICのレベル1に合格したという感じです。その後レベル2を昨年取得したんですが、その時は後半の部分、ファイルサーバーの設定やメールサーバーの構築という辺りのOSよりも上の部分に関してはちょっと苦労しましたね。それぞれのシステムにおいて設定する内容が似てはいても少しずつ異なりますし、覚えなければいけないことも多数ありますし。本を読んで基本的な操作は分かっていても実際に手を動かして操作していたわけではないので、ある目的に向かって何かを作るというのはやっぱり座学だけでは足りないのかなと思います。私の場合は特殊でしたが、テイクスの教育では通常は一人に一台の仮想マシンを用意して操作できる環境は提供して貰えます。



インタビューに答えた伊藤一洋さん

### テイクスに入社した経緯を教えてください。

私は前職では、電気工事の会社に就職しましてそこで5年間ほど働いてたんですが、将来のことを色々考えたり、システムエンジニアの友人の話を聞いているうちにIT業界に移ってみようと思ってテイクスに入社しました。その仕事もやりがいがあって好きだったんですが、もしも怪我をしたら働けなくなるなんていうリスクもありますし、色々な話を聞いてい

**そういう意味では他の社員の見本になっているということですね。**

そうですね。レベル 1 に出遅れた分、レベル 2 を頑張って取得できたのが良かったと思います。

**伊藤さんは今、部下を持つ立場ですが、自分の後輩が勉強するとしたらどんなアドバイスをしますか？**

自分が勉強していた時もそうだったんですが、分からないことは直ぐに人に訊くというのではなくまず自分で解決するように努力するということですかね。勿論、場合によっては人に訊いたほうが早いことも多いんですが、自分の力で問題を解決するという姿勢が大事だと思います。

実際の業務では教則本に載っていることを順番に使うなんていうことはなくてこのエラーは何処から来たんだ？みたいなことの連続なので自分で考えて解決することができないと仕事にならないと思いますね。だから自分で考えて解決するという能力が必要だと思います。

勉強の仕方についてですが、試験などの場合は、いつまでに取りますということを上司に宣言して自分を追い込むということをやりました。そうやって宣言するとどうしてもやらざるを得ないので、自分もそうだったんですが、なかなか毎日勉強のための時間を作るというのは難しく、移動時間などを上手く利用するというやり方でこなしていました。

会社から自宅に帰る前に 1 時間ほどカフェに立ち寄ってそこで集中的に勉強していましたね。そうやって時間を作りました。自宅から職場に向かうまでの通勤時間をそのまま勉強に使えるという風に考えれば時間を作ることも可能になると思うんですよ。後輩にはそうアドバイスしています。

**コンピュータ業界は常に進化していて新しいことがどんどん出てきますが、それについていくために意識していることはありますか？**

仕事で関わるソフトウェアについては調べたりすることはありますが、新しいソフトウェアについてはまだあまり自分自身が意識して勉強したりはできていないですね。でも将来的には他の技術にも挑戦していきたいと考えています。今はサーバー OS が中心ですが、ソフトウェア開発にも興味はあります。



**LPIC の試験について何かリクエストはありますか？**

これまでテイクスの社員が受けた LPIC の試験は全てテストセンターでやっていたと思いますが、今の状況からなかなか外部の組織に行き受けるということが難しいこともあると思います。そういう時に自宅でも受けられると良いんですが、なかなか自宅で周りに PC 以外何も無い環境っていうのは作りづらいですよ。家族がいる場合もあるでしょうし、自宅だと環境を作っても宅配便が来てしまったり対応しないといけないなんてこともあるでしょうし。

LPI： それに関しては基本的にはテストセンターではなく自社の会議室などで行えるようになりますので、会議室に

PC を入れて PC のカメラが動作すればテスト受験は可能になります。基本はカメラで試験官がチェックを行い、必要に応じてチャットで会話をすることになりますので音声は特に必要ではないのです。試験官も日本人が対応するようになっています。



研修風景

未経験かつ他業種からの転職という逆境においても充実した社員教育と問題解決を自分で行うという姿勢、そして限られた時間をやり繰りして勉強に割り当てる方法で LPIC にも前向きに向き合った伊藤氏はこれからも IT エンジニアとして新たな技術に挑戦していきたいと語った。